DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

黄金の鍵の

[注意]モブジャ要素あり

シンドバッド×ジャーファル

ジャーファル

それで俺が迷宮の入り口に近づくと…

……

眠そうだなジャーファル

うと

ぱちっ

はっ

あ…すみません

もう何度も繰り返したからな

いえ…いつも推敲の手伝いがてら一番に聞けるのは楽しいです

そうか？それならいいが

侍女にお茶を頼んできますね

ああ

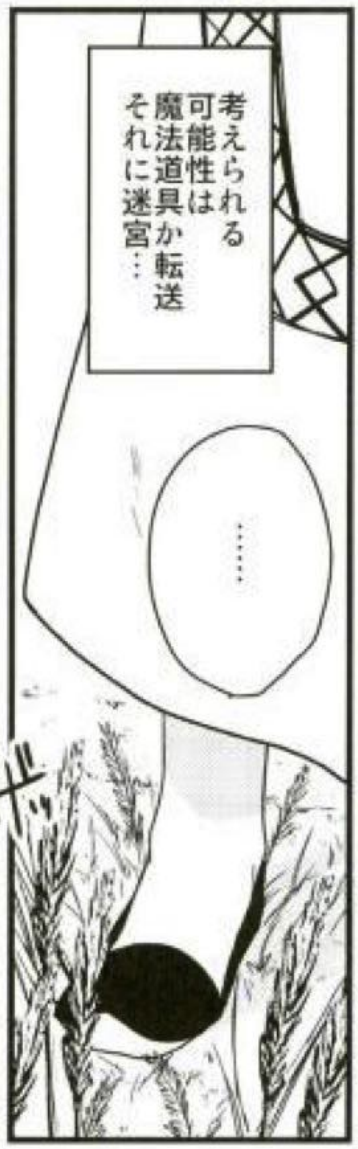
ガサッ

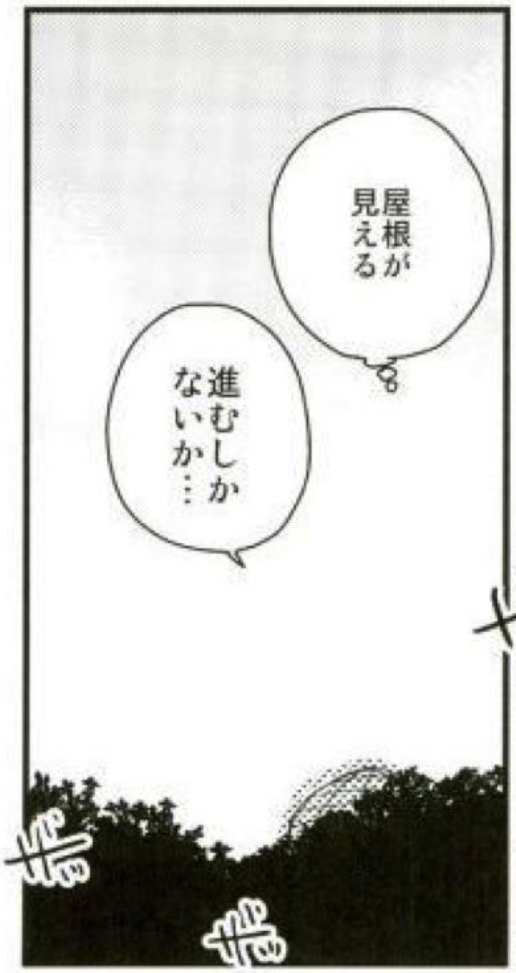
え……
シン…？
…に少し似てる？
ちょっと君！
たとえ子供の遊びでも王宮への侵入は…
来ないで
ダッ
待ちなさい
君は…
あぁでも

ガシッ!?
もう遅い
わ
ドサッ
……
真っ暗だ…
どこから落ちてきたんだ
シン!
王宮の下にこんな場所があるなんて
……
さっきから妙なことばかりだ
ん…
うーんあとちょっと…
あれ?

ア
おかしいだろ……
どう考えても

あの位置で
穴に落ちれば
王宮の下のはず


考えられる
可能性は
魔法道具か転送
それに迷宮…
……


屋根が
見える
進むしか
ないか…

シンドリアとは違うにおい
少し蒸暑い…
はぁ…
ザッ
あと少し
ザッ
ザッ
ジュルッ
な…っ!!?
…っ!!?
ドサッ

何だこれ

ギシ

ブチ

くそ…っ

ギッ

!?

うわっ

ばいっ
……！
……君は
着いてきてしまったの

！
それ…なるべく吐き出したほうがいい
やつらの苗床にされてしまうよ

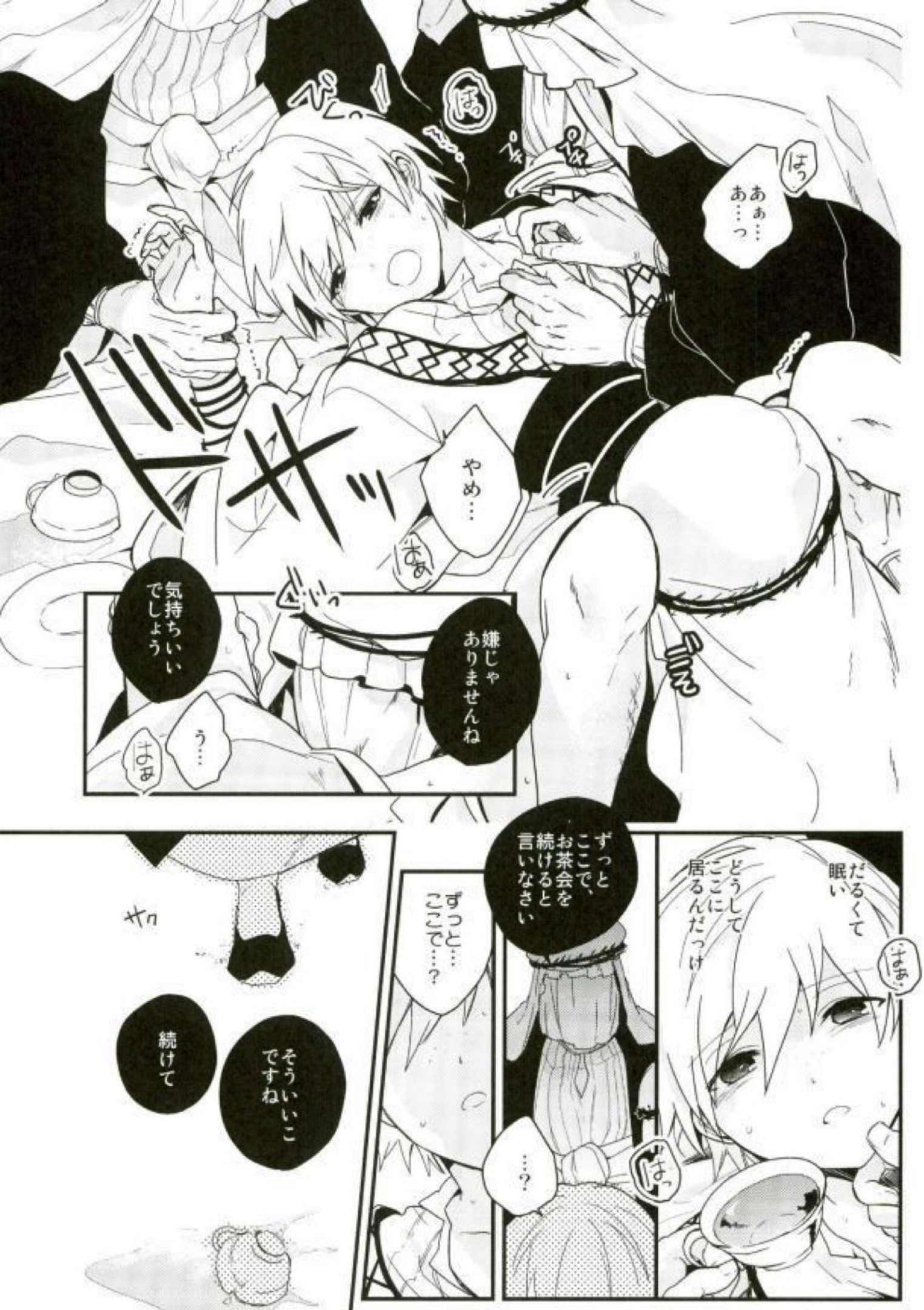
俺はもう行かないと
待ってここは一体…

ハートの王に捕まらないで

首をはねられて
帰れなくなるよ

ま…待って！
くそ見失った…足速すぎ
ダッ
ダッ
変に喉が乾く
気候とさっきの植物の液体のせいか
…！
やあやあお客さんだ
あの…ここは一体
ここはお茶会だよ
お茶…会？
喉が渇いたのではありませんか？
さあどうぞ
えっと…ありがとうございます

毒はないか…
ん
美味しい
それは良かった
先ほどここに少年が来ませんでしたか？
私は彼の後を追わなくては…
なぜですか？
なぜって…
あれ
それは…
どうしてだっけ
彼というのはお知り合いですか？
いえ知らない子で…
私は誰を追っていたんだっけ
さあ冷めないうちに飲んで
…はい
あ…
もっと飲んで
ん
うっ
あ…
貴重な外の人間だ
見つからない内に隠してしまおう


はっ
あぁ…あ…っ
ぺろ
ぺろ
ぺろ

ボッ
首をはねられるぞ！
王が首をはねたはねられる
はっ
だれ…
はっ
見つけた
俺のジャーファル

……ん

ジャーファル起きたか

シン！

もう平気か？

はい…危ないところをありがとうございます

ここは…？

森の外から屋根が見えなかったか？

その屋敷だよ

あぁあそこの…

でもシンここ何かおかしいんです

一体…

んっ

ジャーファル

ちょっとシン

あの

紅い瞳

……!?

シンじゃない…?

やっと見つけた

わゆっ

ジャーファル

ちゅっ

ちゅ

あっやめ…

するっ

なんて冷たくてさみしい瞳

私は

この瞳を知ってる

シン……?

シンっ
だめです…
やめてください…っ
うあっ
どくどくっ
びくんっ
はっ
どくっ
ちゅっ
びくっ
ぬぷっ
ぬぷっ

ぬぷっ
ずぷっ
ずぷっ
あっ
あぁ〜
はっ
ん
はっ
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬ

ほら自分で擦って
う、う…
なか熱くて変になる…っ
ほらちゃんとナカに出すよ
イキなさい
きもちいい…っ
ジャーファル大丈夫
あっ…
俺ので音鳴ってる
やらしい
う…やめ…

ねえ
ジャーファル
寂しい
はっ
はっ
ぬちゃっ
はっ
ぐちゅっ
もっと
近くにきて
ぎゅっ
はっ
……？
こんなに
近いじゃ
ないですか
ギッ…
まだ
足りない
ちゅっ
あなたは…
いつも…
寂しかったん
ですか？
ジャーファル
俺には
お前だけだよ
……！
はっ

国や世界なんてどうだっていい
俺の前から居なくなるな
お前だけいてくれればそれでいい
…やっとわかった
あんたはシンとは違う
ガバッ

シンは嘘でも私にそんな言葉を言わない
ふふっ
嬉しいくせに

ガバッ
うん…可愛いな
最初は帰そうかと思っていたが…
ムラ
ぱっ
ふ
気に入った
やはり俺の傍に居なさい
はっ
……
お断りします

これは
あのひとが押し殺してきた
孤独そのものじゃないか
シン…

シン

でも私は

帰らなきゃ

う…

頭痛い…

起きたか？

寝起きで悪いが…

今日はお前の処刑の日だよ

……は？

冗談はやめてください

私は帰ります

入れ

世界とお別れするんだ

できるだけ綺麗に首をはねてあげよう

ジャーファル

ガチャ

何を言って…!?

ぅん…

跪け（ひざまず）

ザッ

!!?
身体が動かない
昨日あれだけ注いだんだ
俺の言葉はよく馴染むだろう？
シン…
どうしてこんな
首をはねろ
はい
どうして
!!

ぎゅっ
え…
ぱっ
……？
何だったんだ今の…
ドキ
いい子だジャーファル
痛くないし何もない
確かに首を切られて…
ドキ
!!
待って！
ばっ
……
ばたばた

何なんだ迷宮か魔法…？
はっ
はっ
ねえ
いや幻覚でも見てるのか
君ならわかるんじゃないか？
今すぐここから出たいんだ
はやく元の世界に…っ！
……？
ジャーファル
何を言っているんだ
もう外に出ているじゃないか
すっ
はっ
外ってそんな…

鍵穴をのぞいてごらん

え

私が…寝てる？

シン！

起きて…

ばっ

ジャーファル

怖い

来ないで

ヤッ

ヤッ

いや

いやだ

はやく…はやく目を覚まして

はっ

ヤッ

目を覚まして……！

おい大丈夫かジャーファル

う…

随分うなされてたぞ

シン……

よかった…起きれた

どうした？

…ああでも笑ってしまうような内容ですね

すごく変な夢を見たんです

へぇ聞かせてくれよ

えっと…あれ？

…起きると忘れちゃうもんですね

もう昼休憩終わりますよ！

そうだな

そろそろ仕事に戻るか

え
ドクン
待って
どうして
ドサ
私
起きてないのに
ドクン
シン…！
シン！
私を置いていかないで
行かないで
シンっ
ドクン
言っただろうジャーファル
あ
俺の傍に置くと

いやだ…
ガタ
ガタ
お前はジャーファルが悪夢から覚めるための対価だ
諦めなさい
そんな嘘だ…
だって私はここに
大事にするよ
愛してあげよう
ジャーファル
何度でも何度でも
すっ

GOSUMURA

MAGI FAN BOOK:12